

## 平成30年度事業計画書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

本財団は、定款に基づき下記の公益目的事業等を計画的、着実に実行、推進して行く。

### 1. 学術研究助成事業

感染症の基礎的あるいは臨床的研究及び感染症に関する疫学的研究を行っている若手の個人を対象に、一般細菌感染症、ハンセン病、リケッチア症、寄生虫病などの研究課題に対して、公募により申請された研究計画を審査、選考の上、本年度は第45回目の学術研究助成金受贈者を決め、3月に贈呈する。

なお、平成30年度も引き続き助成金総額を1,000万円(1件:100万円、10件)として予算計上する。

### 2. 顕彰事業

顕彰事業である次の各賞について、公募推薦された個人を審査、選考の上、表彰を行い当該事業における一層の拡充を図る。

#### (1) 平成30年度「第45回大山健康財団賞」

発展途上国において、長年医療協力に尽くし、特に感染症対策に尽力した医療関係者個人に対し、表彰状、メダル及び副賞(100万円)を贈呈する。

#### (2) 平成30年度「大山激励賞」

大山健康財団賞に準ずる功績のあった医療関係者を対象とし、今後一層の活躍が期待される個人に対し、表彰状と副賞(50万円)を贈呈する。

### 3. 学術集会支援事業

予防医学、感染症(細菌、寄生虫)、特に発展途上国における感染症、顧みられない熱帯病等に関する学術集会に対し、公募により申請された学術集会を審査、選考の上、学術集会支援助成金を贈呈する。

ただし、助成金総額は100万円(1件上限50万円、3件まで)とし、予算計上する。

### 4. 年報作成

平成28年度の第43回大山健康財団賞受賞者および大山激励賞受賞者の紹介、並びに第43回学術研究助成金受贈者の業績報告集(年報No.43)を作成することとし、30万円を予算計上する。

### 5. 寄附金

国際医学研究会(慶應義塾大学医学部学生組織)の第41次派遣団の下記の活動に寄附をすることとし、30万円予算計上する。

同研究会は、1978年より毎年南米を中心に世界各地に医学生を派遣し、「医の原点の実体験」および「医学、医療を通じた国際交流」、「活動を通じた現地への貢献」を基本指針とし、第9次5ヵ年計画として、「変わりゆく医療と現代における理想」を掲げ、現地調査と考察を行う等、国際医療貢献活動を行っている。

平成30年度は、7月14日から8月25日の日程で、ブラジル(ボアビスタ、マナウス、サンパウロ、アラカチ)及びスウェーデン(ストックホルム)での活動を予定している。

以上